

平成 28 年度

豊中市立図書館の中長期計画
（豊中市立図書館グランドデザイン）
進捗状況一覧表

- 図書館の使命と理念
- 概念図
- 4つの目標
- 28のプラン

平成 29 年 7 月

豊中市立岡町図書館

図書館の使命と理念 基本目標

<公共図書館の使命・理念>

- ・多様な資料や情報を収集・保存し提供することにより、すべての市民に知る機会を保障します。
- ・民主主義と地方自治の発展に寄与します。
- ・市民の生きがいや心の豊かさを生み出す生涯学習を推進します。

<豊中市立図書館の使命・理念>

- ・豊中市立図書館は「ユネスコ公共図書館宣言」・「図書館法」・「図書館の自由に関する宣言」に基づき、多様な資料や情報を収集・保存し提供します。
- ・豊中市立図書館は、すべての市民に知る自由を保障することにより、民主主義や市民自治の発展に、寄与します。
- ・豊中市立図書館は、教育・文化・情報・社会参加の機関として、その任務を果たすことを使命とします。

<豊中市立図書館の基本目標>

1. 図書館活動全般を通じて、教育と文化の向上に貢献し、人権を尊重するまちづくりをめざします。
2. 図書館活動を活発に展開することにより、市民生活に密着した、より質の高いサービスを提供します。
3. 図書館の運営については、納税者が納得できるよう透明性が高く、無駄のない、効果的な運営に努めます。
4. 資料提供については、利用者の秘密を守り、知る自由を保障するため、最善を尽くします。
5. 市民が、より豊かで潤いのある文化的な生活を営むために、必要な資料や場を提供し、市民の人的・文化的教養の醸成を支援します。
6. 日常生活や仕事における、さまざまな課題を解決するために、必要な情報や知識を提供し、個人の能力開発や地域のビジネス活動を支援します。
7. メディアリテラシーの向上にむけ環境を整え、情報格差を解消し、市民の情報生活がより豊かになるよう努めます。
8. 「豊中市子ども読書活動推進計画」に基づき読書環境を整備し、子ども読書活動を推進します。
9. 高齢者や障害者等に優しい情報提供や読書環境を整備し、誰もが共生できる地域社会の実現に貢献します。
10. 地域情報を図書館に集め、地域の活動拠点や居場所として、地域の文化創造に積極的に参画し、コミュニティの活性化に努めます。
11. 図書館協議会や市民活動団体・市民等の参加や協力を得ながら、「豊中市市民公益活動推進条例」等をふまえて、より魅力的な図書館の運営に努めます。
12. 行政機関に対して適切な情報支援を行い、行政の政策立案等を側面からサポートすることにより、市民生活の向上に努めます。
13. 他の図書館や地域の大学・専門機関等とも連携・協力し、より高度で幅広い市民ニーズに対応できるよう努めます。
14. 図書館活動全般を通じて、多文化共生社会の確立に貢献します。

〈グランドデザイン 4つの目標と28のプラン 概念図〉

「豊中市立図書館グランドデザイン」とは、平成35年(2023年)までに図書館のめざす姿を実現するために、平成26年3月に策定されたものです。

1 市民と地域の自立を支えます

G サービス(a 利便性の向上)
⑳ 図書館活用の幅を広げる ㉑ 集会室利用の活性化

G サービス(b 地域との関係強化)
㉒ 市民の社会参加、地域との関わりづくりの支援
㉓ 地域情報の活用機会の提供 ㉔ 図書館サポーターへの参加機会の提供

2 利便性を向上させ、あらゆる情報を提供します

G サービス(a 利便性の向上)
① セルフ貸出、返却、予約受取
② 開館日数の拡充
③ 予約資料の受取場所の拡充
④ ICTの活用
⑤ 広域連携の拡大

今後10年に特化した4つの目標

3 地域課題の解決に尽力します

D 調査・分析
① 調査分析

F 資料
② 地域で必要とされる資料の提供

B 職員(a 組織)
③ グループ制の導入
④ 館ごとの目標設定

B 職員(b 人材育成)
⑤ 関連部局との人事交流

G サービス(b 地域との関係強化)
⑥ 地域情報の活用機会の提供

4 子どもの学びを支えます

B 職員(b 人材育成)
⑦ 学校図書館を支援する人材の配置

目標実現を支えるプラン

A 図書館運営
① 最適な実施手法の確立
② 評価システム
③ 業務の改善・集中化

B 職員(a 組織)
④ 職員の役割分担
⑤ 採用計画の作成

B 職員(b 人材育成)
⑥ 関連部局との人事交流
⑦ 体系的な研修の実施
⑧ 先進事例の研究

C 施設・物流(b 物流)
⑨ 柔軟な物流体制

C 施設・物流(a 施設活用)
⑩ 施設配置の最適化

E 情報
⑪ 情報の積極的収集、共有・活用

G サービス(a 利便性の向上)
⑫ セルフ貸出、返却、予約受取
⑬ きめ細やかな接客

H 広報
⑭ 効果的な広報

グランドデザインの4つの目標 進行管理報告書(平成28年度)

グランドデザインの4つの目標とは「豊中市立図書館の中長期計画 豊中市立図書館グランドデザイン」(平成26年3月策定、以後グランドデザイン)において、平成35(2023)年までに図書館のめざす姿を実現するために設定されたものです。図書館のめざす姿を実現するため、28のプランを優先順位の高いものからすすめることになっています。この優先順位の高いプランの実施状況を確認することで、グランドデザインの進捗状況の点検をすすめていきます。進行管理については以下のとおり行います。

- ・0~4の目標のうち、複数のプランがあるものについては、図書館の使命および関連の事業計画や当該年度における図書館を取り巻く現状などに照らし合わせ、年度ごとに優先順位を決定します。決定には直接サービスに関わる分館の施設長等も関わります。
- ・28のプランを関連する4つの目標(1~4)と目標実現を支える取り組み(0)ごとに分類します。
- ・28のプランの優先順位の高い取り組みを抽出し、事業ごとの取り組みや課題、次年度に向けての予定を達成状況とともに表しています。
- ・優先順位の高い取り組みがどの程度達成できているか確認することにより、図書館のめざす姿の実現に向けての進行管理とします。

達成度 ◎:十分達成できた ○:おおむね達成できた △:一部達成 -:未達成

1. 学びによる市民と地域の自立を支えます。 該当プラン ⑳㉑㉒㉓㉔

優先的な取組プランと事例	達成状況	課題、平成29年度に向けての取り組み
【優先的取組プラン:㉑市民の社会参加、地域との関わりづくりの支援】 【事例】 27年度に引き続き、情報検索や本の装備を体験するなど、庄内図書館・野畑図書館等で「大人のための図書館のお仕事体験ツアー」を開催し、図書館についての理解を深める機会としました。さらに庄内図書館では「図書館サポーター講座」を開始しました。将来を担う中学生・高校生のボランティア活動も各館で受入れました。	◎	【課題】 ○市民にむけた図書館の役割についての周知 ○市民協働の事業内容についての市民への周知 ○市民の社会参加に対するニーズの把握㉑ ○継続したサポーター募集 ○多くの市民に参加してもらえよう、参加者のニーズの把握および魅力的なメニュー作り㉑
【優先的取組プラン:㉒図書館サポーターへの参加機会の提供】 【事例】 29年2月20日に「豊中市立図書館・図書館サポーター活動実施要綱」を施行しました。これにともない庄内図書館と野畑図書館にて「図書館のお仕事体験ツアー」を開催し、庄内図書館では参加者の中からサポーターの登録希望者を募り、3月17日に第1回「図書館サポーター講座」をあわせて実施しました。	○	【平成28年度に向けての取り組み】 引き続き「北摂アーカイブス」「しょうないREK」の事務局として活動に取り組みます。 「図書館サポーター」の本格実施に向け、引き続き「大人のための図書館のお仕事体験ツアー」「図書館サポーター講座」を並行して実施し、市民の参加の機会を増やします。㉑ 引き続き「図書館のお仕事体験ツアー」を開催してサポーター希望者を募集し、サポーターとしての活動の機会を提供します。㉑

2. 市民の利便性を向上させあらゆる情報を提供します。 該当プラン ㉕㉖㉗㉘㉙

優先的な取組プランと事例	達成状況	課題、平成29年度に向けての取り組み
【優先的取組プラン:㉕開館日数の拡充】 【事例】 ・千里図書館では、10月より月曜開館を開始するとともに、5日間の資料点検中にセルフ予約棚を開放することで、部分的な開館につなげました。 ・資料点検期間については、ICT化により概ね1日から2日の期間短縮を行いました。	◎	【課題】 ○千里図書館の開館日拡充後の効果検証。バックアップ体制の構築のための全館的な事業の見直しやさらなる効率化。金曜日に職員が半数体制となる千里図書館及び金曜定休の高川・蛍池図書館職員の全体会議や研修の機会保障。(現状は月末の金曜日に全体職員会議や研修を実施) ○岡町図書館の開館時間延長の可能性の検討。 ㉕ ○図書館向けデジタル化資料送信サービスの市民へのPR ○マイライブラリーなど既存のインターネットサービスの利用案内 ㉖
【優先的取組プラン:㉗ICTの活用】 【事例】 資料点検期間については、ICタグ導入など、ICT化の推進により概ね各館1日から2日の期間短縮を行いました。 千里図書館では、28年9月より国立国会図書館の図書館向けデジタル化資料送信サービスに参加し、閲覧および複写のサービスを提供しています。また、国立国会図書館デジタルコレクションの閲覧、複写サービスも提供しています。	○	【平成29年度に向けての取り組み】 プラン⑤(職員の役割分担)で作成した職員の役割分担表をもとに事業見直しを行い、効率化をはかります。 庄内幸町を除く全館でのセルフ機の導入から1年間、また千里図書館の月曜開館の1年間の効果検証を行います。 月末休館日の曜日変更についての検討をおこないます。㉗ 先進事例の研究や次期図書館システムに向けての検討をはじめます。㉘

3. 地域課題に対応した図書館サービスを提供します。 該当プラン ④・⑦・⑧・⑭・⑯・⑳

優先的な取組プラン、事例	達成状況	課題、平成29年度に向けての取り組み
<p>【優先的取組プラン:⑭調査分析】 【事例】 ・町丁別の人口と登録率および4年間のその増減等により、特にPR等に力を入れていくべき地域を検討し、3地域を選び出しました。それぞれの地域の調査分析により、その地域の人が使いやすいと思われるサービスの紹介をポイントにするPRなどを検討しながらすすめています。 ・市民からより納得を得られる予約のあり方等について、他市の調査を行いました。 ・中核市における図書館のサービス内容およびコストについて情報収集、分析を行い、目指すべきコストの見直しを行いました。</p>	○	<p>【課題】 ○職員による統計分析の手法の習得⑭</p> <p>【平成29年度に向けての取り組み】 ・市民からより納得を得られる予約のあり方等についての他市の調査を分析し、当市のニーズに沿ったサービスを検討・実施します。 ・地域課題の調査分析をすすめ、高川図書館、東豊中図書館、服部図書館において多機能化の検討、実践に取り組みます。 ・(仮称)南部コラボセンター内の図書館機能について、図書館協議会の提言や市民の意見などをふまえ、より具体的に検討をすすめます。 ⑭</p>

4. 学校図書館の支援を通じて子どもたちの学びの基礎作りを支えます。 該当プラン ⑪

優先的な取組プランと事例	達成状況	課題、平成29年度に向けての取り組み
<p>【優先的取組プラン:⑪学校図書館を支援する人材の配置】 【事例】 ・学校図書館を活用した授業へのサポート、新任司書研修、学校図書館の開館や移転の応援、点字資料の借受の配送応援等を実施しました。 ・指導体系表等を新たに追加した「学校図書館を活用した授業例とよなかスタンダード」を全校に配布しました。 ・全教職員を対象に「学校図書館活用研修」を新設し(年2回開催)、校内研修を5校で実施しました。 ・「ブックプラネット通信」(6号・7号・8号・9号)を発行しました。 ・知的探究合戦「めざせ！図書館の達人」、子ども読書活動フォーラムを開催しました。 ・小中一貫学校図書館プロジェクトチームを立ち上げ、小中一貫校における学校図書館について検討を開始しました。</p>	○	<p>【課題】 ○教育センター、学校教育課と連携した学校図書館教育に関する体系的な研修の検討 ○学校図書館を支援する人材として、学校図書館の実務経験がある担当者の配置⑪</p> <p>【平成29年度に向けての取り組み】 ・「学校図書館を活用した授業例とよなかスタンダード(概要版)」を作成し、小学校の全教職員に配布します。 ・教育センター、学校教育課と連携し、学校図書館教育に関する体系的な研修を検討します。司書教諭と司書が合同で参加できる研修を計画します。 ・27年度から集約を開始した「学校図書館を活用した授業実績(単元数)」を教育行政の推進にあたっての指標として位置づけ(29年教育行政方針)学校図書館の活用をすすめます。⑪</p>

0. 1から4の目標実現を支えます。

該当プラン①・②・③・⑤・⑥・⑧・⑨・⑩・⑫・⑬・⑮・⑰・⑳・㉒

優先的な取組プランと事例	達成状況	課題、平成29年度に向けての取り組み
<p>【優先的取組プラン:①最適な実施手法の確立】 【事例】 導入したセルフ貸出機等のさらなる活用、利用率向上をめざし、配置場所などの再検討を行いました。また高川図書館については多機能化に向けて一部リニューアルを実施し、連携事業の実施等、多様な活用に取り組んでいます。</p>	○	<p>【課題】 ○コスト意識をもちながら、地域のニーズに合った図書館サービスの提供、特に服部・東豊中図書館における多機能化 ○事務事業の見直しの状況や今後の図書館のあり方について職員間における情報共有①</p>
<p>【優先的取組プラン:⑤職員の役割分担】 【事例】 ・多様な雇用形態の職員が自身の業務を見直し、今後の円滑な図書館運営につなげるために雇用形態ごとの分担を「豊中市立図書館グランドデザインにおける役割分担表」にまとめ、職員間で共有しました。</p>	○	<p>○事務事業見直しの中での役割分担表の活用。個々の現状の仕事の確認および組織における職域ごとの業務の洗い出し、他の職域の職員に向けての業務の切り出し ○組織の合意形成や課題解決力を高める効率的・効果的な会議の持ち方 ○「豊中市人材育成基本方針」に基づく各職階での職員が果たすべき役割と必要な能力・資質についての認識⑤</p>
<p>【優先的取組プラン:⑥採用計画の作成】 【事例】 事務事業の見直しにおいて、図書館職員数および多様な雇用形態による役割分担や将来的な施設配置の変化予測をも含め、継続して議論を行いました。</p>	△	<p>○多様な雇用形態による運営管理の継続実施、貸出等一部業務のセルフ化による効果の最大化、および常勤職員の削減予定への対応 ○他部局・学校図書館から人事交流で配属された職員が、速やかに公共図書館について理解を深め、力を発揮できるような対応 ○中途退職者の補充がコスト管理の側面から実施できない場合への対応 ⑥</p>
<p>【優先的取組プラン:⑨体系的な研修の実施】 【事例】 ・人材育成に必要な情報として、職員の業務内容を記載した人材育成カルテを作成しました。 ・文部科学省・国立社会教育研究所主催の図書館司書専門講座に1名が参加しました。 ・庄内図書館では児童虐待に関する研修を実施するなど、地域館独自の研修を実施しました。 ・豊中図書館を考える未来の会と共催した市民協働研修を行いました。</p>	○	<p>○さまざまな雇用形態の新規職員について、相談や指導のしくみの充実 ○研修報告の共有と研修を活かした実践への取り組み ○経験年数や配属に即した体系的な研修プログラムの検討⑨</p>
<p>【優先的取組プラン:⑫ 施設配置の最適化】 【事例】 事務事業の見直しの一環として、中央図書館を視野に入れて検討を始めることになりました。また図書館が身近になり地域の利便性向上のため、既存施設の再利用について提案しました。</p>	○	<p>○中央図書館を視野に入れた図書館の施設配置のあり方 ○セルフ貸出機等、ICTを活用したサービスによる業務の効率化 ○服部図書館・東豊中図書館の多機能化の検討⑫</p>
<p>【優先的取組プラン:㉒きめ細やかな接客】 【事例】 ・27年に行った障害のある方に対するより良い窓口対応の研修に続き「障害者差別解消法 実践編」を実施しました。障害福祉センターひまわり職員を講師に招き、視覚障害のある方の安全な手引き歩行についてレクチャーを受け、アイマスクを着用して誘導する側、される側を体験しました。(120人参加)また、野畑、東豊中、服部、庄内図書館では、昨年に引き続き職員研修「接遇振り返り研修」(事前研修と実地研修)として窓口対応や表示等について、外部講師からアドバイスを受け、サービスマナーの向上に努めました。(20人参加) ・岡町図書館貸出室のカウンターに相談登録窓口を設置しました。 ・聴覚に障害のある方との筆談のために全館に筆談用磁気ボードを設置しました。</p>	○	<p>○27年度に引き続きセルフ機導入の効果をふまえたフロアワークの充実㉒</p>

【平成29年度に向けての取り組み】

服部および東豊中図書館の書架を一部縮小するとともに、多機能化に向けて検討をすすめます。またリニューアルした高川図書館のフリースペースの活用方法、担い手についても継続して検討し、地域課題の解決に役立つ事業を実施します。幸町図書館においては機能変更とともに庄内図書館との一体的運用に取り組みます。①

・役割分担表を職員間で共有し、それを元にセルフ貸出機等の導入後の効果を検証し、各館の状況に応じた職員の役割を検討します。

・「豊中市人材育成基本方針」での求められる職員の姿に対して、各職階で自身の日常的な職務行動を振り返り、個々の具体的な目標達成に向けての仕組みづくりに取り組みます。⑤

他部局・学校図書館から配属された職員を対象とする図書館内部の業務研修、新たに図書館に勤務することになった職員を対象とするヒアリングや人材育成担当者の設定など、人材育成に係る工夫を引き続き実施します。セルフ機の効果を最大化し業務の効率化・負担軽減につなげます。⑥

・長期的な人材育成を視野に入れ、体系的な研修の企画や実施に向け「人材育成カルテ」を活用します。

・児童図書館員養成講座または図書館司書専門講座を職員が受講できるよう取り組みます。

・引き続き豊中市立図書館独自の研修プログラムを実施するとともに、ヒアリングや人材育成担当者の設定などの工夫を行います。

⑨

中央図書館を視野に入れた図書館の施設配置のあり方について検討を開始します。他自治体におけるコンビニエンスストアとの提携事例の研究や導入の際の課題の整理に取り組みます。また東豊中図書館、服部図書館においては多機能化の検討、実施をすすめます。⑫

「障害者差別解消法 実践編」の結果をカウンターでの対応に活かします。

「接遇振り返り研修」を受け窓口対応のサービスマナー向上や館内表示の改善に努めます。⑳

グランドデザインの28のプラン

20170618

優先順位 A：最優先 B：優先 C：通常

達成度◎：年度内に予定した取り組みを十分達成できた ○：おおむね達成できた △：一部達成 ー：未達成

	項目	達成状況と課題、予定
A 図 書 館 運 営	<p>① 【最適な実施手法の確立】</p> <p>サービスの質の維持・向上を図りながら効率的・効果的に図書館運営を行っていくとともに、地域特性をふまえた特色ある図書館づくりをすすめていくため、サービス及び経営の両面から業務の実施主体の見直しも含め、最適な実施手法を確立していきます</p>	<p>【平成 28 年度事例】</p> <p>導入したセルフ貸出機等のさらなる活用、利用率向上をめざし、配置場所などの再検討を行いました。また高川図書館については多機能化に向けて一部リニューアルを実施し、連携事業の実施等、多様な活用に取り組んでいます。</p> <p>【現状】</p> <p>庄内幸町を除く市内地域館、分館すべてに設置されたセルフ貸出機の活用をすすめています。また市の事務事業の見直しの進捗管理において、日常業務の効率化および服部・東豊中図書館の分館のあり方についても検討しています。</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○コスト意識をもちながら、地域のニーズに合った図書館サービスの提供、特に服部・東豊中図書館における多機能化 ○事務事業の見直しの状況や今後の図書館のあり方について職員間における情報共有 <p style="text-align: right;">【達成度：○】</p> <p>【平成 29 年度の予定】</p> <p>服部および東豊中図書館の書架を一部縮小するとともに、多機能化に向けて検討をすすめます。またリニューアルした高川図書館のフリースペースの活用方法、担い手についても継続して検討し、地域課題の解決に役立つ事業を実施します。幸町図書館においては機能変更とともに庄内図書館との一体的運用に取り組みます。</p> <p style="text-align: right;">【優先順位：A】</p>
A 図 書 館 運 営	<p>② 【評価システム】</p> <p>豊中市立図書館評価システムに基づき、事業目的に合わせたサービス提供を検討します</p>	<p>【平成 28 年度事例】</p> <p>評価作業簡略化のため、「豊中市の図書館活動」に 27 年度分の評価項目表を掲載しました。</p> <p>【現状】</p> <p>グランドデザイン（35 年度まで）の進捗管理を優先しています。29 年度実施予定の自己点検評価、外部評価にむけて取り組んでいます。</p>

		<p>【課題】 ○各館業務のなかで、評価項目表に関わる作業の一層の効率化</p> <p style="text-align: right;">【達成度：○】</p> <p>【平成 29 年度の予定】 評価項目表を作成、24～28 年度の図書館運営のふりかえり（自己点検）に取り組み、「豊中市の図書館活動」にその報告を掲載する予定です。さらに、この自己点検と来館者アンケート（実施予定）等に基づき、図書館評価部会による外部評価をすすめます。</p> <p style="text-align: right;">【優先順位： A】</p>
<p>A 図 書 館 運 営</p>	<p>③ 【業務の改善・集中化】 図書館業務の改善・集中化 をすすめます</p>	<p>【平成 28 年度事例】 業務改善・自動化の成果として、10 月より千里図書館で月曜開館を開始し、開館日を拡大しました。また、高川図書館の機能変更に伴い、館内のレイアウトをリニューアルしました。</p> <p>【現状】 庄内幸町図書館を除く全館に導入したセルフ貸出機の利用を促進し、効果的な活用法についてさらに検討をしています。また、カウンター業務の効率化のほか、会議の持ち方などについてもあわせて業務改善をすすめています。岡町図書館に集中化した管理業務が定着しつつあります。</p> <p>【課題】 ○開館時間やサービスポイントの拡大など、サービスの充実に向けた、さらなる業務の改善</p> <p style="text-align: right;">【達成度：○】</p> <p>【平成 29 年度の予定】 東豊中図書館・服部図書館の機能変更・多機能化に向けて検討をすすめます。庄内幸町図書館については機能変更とともに、庄内図書館との一体的運営に取り組みます。また警備、清掃など総合管理の調達に関して、複数館まとめた契約について検討します。</p> <p style="text-align: right;">【優先順位： B】</p>
<p>B 職 員 a 組 織</p>	<p>④ 【グループ制の導入】 全市的な課題に基づいた グループ制を導入します</p>	<p>【平成 28 年度事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料運用グループおよび貸出室担当職員が野畑図書館の書庫内の蔵書の見直し作業に取り組みました。 ・分析 P R チームを中心に広報と連動した「私の本棚」を実施し、取り上げられた本をパネルとともに各館を巡回して展示しました。 ・児童サービス担当者連絡会では会議の持ち方についての再検討を行いました。 ・研修担当職員が市民と企画段階からかわり、1 月に全館職員を対象に市民協働研修を実施しました。

		<p>【現状】 成人、児童サービス担当者連絡会への施設長の参加や、施設長副館長会議に地域館長が参加するなど、組織内での意思決定や情報共有が円滑になるよう努めています。</p> <p>【課題】 ○高齢者サービスグループ編成の検討 ○グループ会議、施設長副館長会議、館長会議との情報共有</p> <p style="text-align: right;">【達成度：○】</p>
		<p>【平成 29 年度の予定】 各グループや担当者連絡会における調整担当が情報共有の要となり、円滑な意思決定をめざします。</p> <p style="text-align: right;">【優先順位：C】</p>
<p>B 職 員 a 組 織</p>	<p>⑤ 【職員の役割分担】 職員の役割分担を明確にします</p>	<p>【平成 28 年度事例】 ・多様な雇用形態の職員が自身の業務を見直し、今後の円滑な図書館運営につなげるために雇用形態ごとの分担を「豊中市立図書館ランドデザインにおける役割分担表」にまとめ、職員間で共有しました。</p> <p>【現状】 参考室を除く各担当者会議に調整担当の施設長・副館長が参加し、討議を深めました。文書主任の役割を明確にするとともに読書振興課総務担当の事務分担表を作成したことで管理集中化後の業務の仕組みを全館で共有しました。</p> <p>【課題】 ○事務事業見直しの中での役割分担表の活用。個々の現状の仕事の確認および組織における職域ごとの業務の洗い出し、他の職域の職員に向けての業務の切り出し ○組織の合意形成や課題解決力を高める効率的・効果的な会議の持ち方 ○「豊中市人材育成基本方針」に基づく各職階での職員が果たすべき役割と必要な能力・資質についての認識</p> <p style="text-align: right;">【達成度：○】</p> <p>【平成 29 年度の予定】 ・役割分担表を職員間で共有し、それを元にセルフ貸出機等の導入後の効果を検証し、各館の状況に応じた職員の役割を検討します。 ・「豊中市人材育成基本方針」での求められる職員の姿に対して、各職階で自身の日常的な職務行動を振り返り、個々の具体的な目標達成に向けての仕組みづくりに取り組みます。</p> <p style="text-align: right;">【優先順位：A】</p>

<p>B 職 員 a 組 織</p>	<p>⑥ 【採用計画の作成】 常勤職員の年齢構成バランスを考慮した採用計画を作成します</p>	<p>【平成 28 年度事例】 事務事業の見直しにおいて、図書館職員数および多様な雇用形態による役割分担や将来的な施設配置の変化予測をも含め、継続して議論を行いました。</p> <p>【現状】 32 年度までの職員数の変動予測に則り管理しています。平成 28 年度新規採用職員は 0 名、28 年度末の定年退職者は 1 名（司書 1）となりました。27 年度に生じた中途退職者の欠員補充が、事務事業の見直しの観点から見送られる結果となりました。</p> <p>【課題】 ○多様な雇用形態による運営管理の継続実施、貸出等一部業務のセルフ化による効果の最大化、および常勤職員の削減予定への対応 ○他部局・学校図書館から人事交流で配属された職員が、速やかに公共図書館について理解を深め、力を発揮できるような対応 ○中途退職者の補充がコスト管理の側面から実施できない場合への対応</p> <p style="text-align: right;">【達成度： △】</p>
	<p>【平成 29 年度の予定】 他部局・学校図書館から配属された職員を対象とする図書館内部の業務研修、新たに図書館に勤務することになった職員を対象とするヒアリングや人材育成担当者の設定など、人材育成に係る工夫を引き続き実施します。セルフ貸出機等の効果を最大化し業務の効率化・負担軽減につなげます。</p> <p style="text-align: right;">【優先順位： A】</p>	
<p>B 職 員 a 組 織</p>	<p>⑦ 【館ごとの目標設定】 地域課題に基づいた館ごとの目標を設定します</p>	<p>【平成 28 年度事例】 館の目標をより身近なものとするため、一部の館で職員が目につく場所に掲示しました。</p> <p>【現状】 ランドデザインに沿って設定した各館の目標について事業に取り組んでいます。施設長副館長を中心に年度ごとの目標の振り返り、新年度の目標設定の作業が定着しつつあります。</p> <p>【課題】 ○各館における地域課題の把握および課題にそった目標設定</p> <p style="text-align: right;">【達成度： ○】</p>

		<p>【平成 29 年度の予定】</p> <p>実施予定の図書館評価システムのアンケート結果から地域課題を見直し新たな目標について各館で設定し共有します。</p> <p style="text-align: right;">【優先順位： C】</p>
B 職 員 b 人 材 育 成	⑧ 【関連部局との人事交流】 関連部局との人事交流を行います。	<p>【平成 28 年度事例】</p> <p>図書館での事業の理解を深めるため、人事交流の職員を対象に、年度当初に図書館のおもな取り組みに関する研修を実施しました。また日常業務に慣れるよう、人材育成を担当する職員を配置しました。</p> <p>【現状】</p> <p>学校司書 1 名、常勤職員と他部局との人事職員の人事交流（平成 26 年、27 年各 1 組）を行っています。</p> <p>【課題】</p> <p>○26 年度からの成果と課題をふまえた研修の実施。</p> <p style="text-align: right;">【達成度：○】</p>
		<p>【平成 29 年度の予定】</p> <p>人事交流を引き続き実施していきます。また継続的に実施できるよう、研修の充実をはかるとともに他部局の常勤職員を対象とした人事交流制度の PR を行います。</p> <p style="text-align: right;">【優先順位： B】</p>
B 職 員 b 人 材 育 成	⑨ 【体系的な研修の実施】 これからの図書館サービスに必要な人材育成のためより体系的な研修を行います	<p>【平成 28 年度事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人材育成に必要な情報として、職員の業務内容を記載した人材育成カルテを作成しました。 ・文部科学省・国立社会教育研究所主催の図書館司書専門講座に 1 名が参加しました。 ・庄内図書館では児童虐待に関する研修を実施するなど、地域館独自の研修を実施しました。 ・豊中図書館を考える未来の会と共催した市民協働研修を行いました。 <p>【現状】</p> <p>市主催の各種政策課題に関する研修をはじめとして、府や図書館関係団体による研修を受講し、図書館内部で学びを共有し、業務につなげています。また人事交流や新規採用の職員を対象として豊中市立図書館独自の研修プログラムの充実をはかっています。</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○さまざまな雇用形態の新規職員について、相談や指導のしくみの充実 ○研修報告の共有と研修を活かした実践への取り組み

		<p>○経験年数や配属に即した体系的な研修プログラムの検討</p> <p style="text-align: right;">【達成度：○】</p>
		<p>【平成 29 年度の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期的な人材育成を視野に入れ、体系的な研修の企画や実施に向け「人材育成カルテ」を活用します。 ・児童図書館員養成講座または図書館司書専門講座を職員が受講できるよう取り組みます。 ・引き続き豊中市立図書館独自の研修プログラムを実施するとともに、ヒアリングや人材育成担当者の設定などの工夫を行います。 <p style="text-align: right;">【優先順位：B】</p>
B 職 員 b 人 材 育 成	⑩ 【先進事例の研究】 先進事例などの研究を業務として行うしくみを整え発信します	<p>【平成 28 年度事例】</p> <p>大阪公共図書館協会の各研究グループに所属し、大阪公共図書館大会で発表を行った広報の活用や中学生の職場体験についての事例研究結果を、職員研修の場で情報共有しました。市民からより納得を得られる予約のあり方等について、他市の先進事例の調査研究を行いました。</p> <p>【現状】</p> <p>研修への参加により得た先進事例などの報告をファイルに蓄積し、各職員が閲覧・参考にできるようにしています。業務の中で行う、図書館関連団体の各種メールマガジンや調査からの先進事例等のトピックの発信は、関連する情報が増加するとともに、業務の繁忙さなどもあり、年々困難となっています。</p> <p>【課題】</p> <p>○長期的な視野のもと、図書館運営に必要な先進事例に関する情報収集・研究をすすめ、発信するしくみの維持・発展</p> <p style="text-align: right;">【達成度：△】</p>
		<p>【平成 29 年度の予定】</p> <p>他自治体におけるコンビニエンスストアとの提携事例の研究や導入の際の課題の整理に取り組みます。次期システムに向けて先進事例の研究を行います。</p> <p style="text-align: right;">【優先順位：B】</p>
B 職 員 b 人 材	⑪ 【学校図書館を支援する人材の配置】 学校図書館を支援する人材を配置します	<p>【平成 28 年度事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館を活用した授業へのサポート、新任司書研修、学校図書館の開館や移転の応援、点字資料の借受の配送応援等を実施しました。 ・指導体系表等を新たに追加した「学校図書館を活用した授業例とよなかスタンダード」を全校に配布しました。 ・全教職員を対象に「学校図書館活用研修」を新設し（年 2 回開催）、校内

育成		<p>研修を5校で実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ブックプラネット通信」(6号・7号・8号・9号)を発行しました。 ・知的探究合戦「めざせ! 図書館の達人」、子ども読書活動フォーラムを開催しました。 ・小中一貫学校図書館プロジェクトチームを立ち上げ、小中一貫校における学校図書館について検討を開始しました。 <p>【現状】 読書振興課に配置された指導主事と公共図書館司書2名の計3名で、研修の企画・実施、学校図書館システム管理等を実施しています。29年度のシステムリプレイスに向け、関係部局と準備をすすめています。</p> <p>【課題】 ○教育センター、学校教育課と連携した学校図書館教育に関する体系的な研修の検討 ○学校図書館を支援する人材として、学校図書館の実務経験がある担当者の配置</p> <p style="text-align: right;">【達成度：○】</p>
		<p>【平成29年度の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学校図書館を活用した授業例とよなかスタンダード(概要版)」を作成し、小学校の全教職員に配布します。 ・教育センター、学校教育課と連携し、学校図書館教育に関する体系的な研修を検討します。司書教諭と司書が合同で参加できる研修を計画します。 ・27年度から集約を開始した「学校図書館を活用した授業実績(単元数)」を教育行政の推進にあたっての指標として位置づけ(平成29年教育行政方針)学校図書館の活用をすすめます。 <p style="text-align: right;">【優先順位 B】</p>
C	⑫ 【施設配置の最適化】	<p>【平成28年度事例】 「事務事業の見直し」の一環として、中央図書館を視野に入れて検討を始めることになりました。また図書館が身近にない地域の利便性向上のため、既存施設の再利用について提案しました。</p> <p>【現状】 豊中市市有施設有効活用計画において検討を行い、事務事業としての進捗状況を発表しました。総務部行政総務室「事務事業の見直しの進捗状況 29年3月公表 p.17～p.19」参照</p> <p>【課題】 ○中央図書館を視野に入れた図書館の施設配置のあり方</p>
施設 ・ 物流 a 施設 活用	施設配置の最適化を図ります	

		<p>○ セルフ貸出機等、ICTを活用したサービスによる業務の効率化 ○ 服部図書館・東豊中図書館の多機能化の検討</p> <p style="text-align: right;">【達成度：○】</p> <p>【平成 29 年度の予定】 中央図書館を視野に入れた図書館の施設配置のあり方について検討を開始します。他自治体におけるコンビニエンスストアとの提携事例の研究や導入の際の課題の整理に取り組みます。また東豊中図書館、服部図書館においては多機能化の検討、実施をすすめます。</p> <p style="text-align: right;">【優先順位：A】</p>
<p>C 施設 ・ 物流 b 物流</p>	<p>⑬ 【柔軟な物流体制】 市民に効率的に資料・情報を届ける柔軟な物流体制を整えます</p>	<p>【平成 28 年度事例】 各館での企画展示の拡充や、予約件数の増加に伴って資料の物流が増加しています。また豊中駅前“すてっぷ”に設置した返却ポストの利用増加に伴い、臨時の資料回収が必要な場合があります。</p> <p>【現状】 27 年度より月曜日の運行と巡回体制の増員がなされ、図書館職員の業務軽減につながっています。</p> <p>【課題】 ○物流の増加やサービスポイントの拡充にも対応できる物流体制の整備</p> <p style="text-align: right;">【達成度：○】</p> <p>【平成 29 年度の予定】 物流の全体量と新たなサービスの拡充を考慮し、円滑な資料提供と魅力的な書架づくりをめざします。</p> <p style="text-align: right;">【優先順位：C】</p>
<p>調 査 ・ 分 析</p>	<p>⑭ 【調査分析】 全市的な視野で調査分析を行い、市民ニーズに沿った適切な図書館サービスを提供します</p>	<p>【平成 28 年度事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町丁別の人口と登録率および 4 年間のその増減等により、特にPR等に力を入れていくべき地域を検討し、3 地域を選び出しました。それぞれの地域の調査分析により、その地域の人が使いやすいと思われるサービスの紹介をポイントにするPRなどを検討しながらすすめています。 ・市民からより納得を得られる予約のあり方等について、他市の調査を行いました。 ・中核市における図書館のサービス内容およびコストについて情報収集、分析を行い、目指すべきコストの見直しを行いました。 <p>【現状】 よりよいサービスや有効なPRまた図書館運営をめざすうえで、調査分析を行う機会が増えています。</p>

		<p>【課題】 ○職員による統計分析の手法の習得</p> <p style="text-align: right;">【達成度：○】</p> <p>【平成 29 年度の予定】 ・市民からより納得を得られる予約のあり方等についての他市の調査を分析し、当市のニーズに沿ったサービスを検討・実施します。 ・地域課題の調査分析をすすめ、高川図書館、東豊中図書館、服部図書館において多機能化の検討、実践に取り組みます。 ・(仮称) 南部コラボセンター内の図書館機能について、図書館協議会の提言や市民の意見などをふまえ、より具体的に検討をすすめます。</p> <p style="text-align: right;">【優先順位：A】</p>
E 情 報	<p>⑮ 【情報の積極収集、共有・活用】 サービスに有効な情報を各職員が積極的に収集し、共有・活用します</p>	<p>【平成 28 年度事例】 ・5月の全体職員会議では、グランドデザインの状況も含め課長から情報提供を行い、課題を共有しました。また11月の全体職員会議では研修報告の実施により成果を共有し、1月には市民協働での全体研修「図書館PRについて」を実施し、研修の結果を共有し活用に向けて取り組みました。 ・市民から、より納得を得られる予約のあり方等について、他市の調査を行いました。 ・NPOブックスタートの自治体職員情報交換会に参加し、他自治体の事例を情報共有しました。 ・大阪公共図書館協会の各研究グループに所属し、大阪公共図書館大会で発表を行った広報の活用や中学生の職場体験についての事例研究結果を、職員研修の場でも発表し情報共有しました。</p> <p>【現状】 効果的に全体会議を活用するとともに、グループウェアでの情報共有が活発になってきています。業務に関わる庁内情報や、危機管理情報、他市の事例報告等、職員間での情報共有に努めています。</p> <p>【課題】 ○限られた時間・機会での情報共有のあり方の検討</p> <p style="text-align: right;">【達成度：○】</p> <p>【平成 29 年度の予定】 各職員が知っていた情報（先進的な事例など）について、全体会議、グループウェア、担当者連絡会など、提供に適した機会・方法によって共有に努めます。また課題に直結した研修に積極的に参加し、内容を職員間で情報共有し実務へ反映させます。</p> <p style="text-align: right;">【優先順位：C】</p>

F 資 料	<p>⑩ 【地域で必要とされる資料の提供】</p> <p>地域の課題と利用の動向をさらに細やかに分析し、地域で必要とされている資料を提供します</p>	<p>【平成 28 年度事例】</p> <p>庄内幸町図書館の教員支援用資料を教育センターと同じ建物内の蛸池図書館に移管することで、対象者がより資料を利用しやすい環境を整えました。東豊中図書館・服部図書館は、蔵書構成等、機能変更に向け見直しを開始しました。多文化共生に関する資料については、関係者への聞き取りを通じてニーズを把握したうえで、資料を収集・提供しました。</p> <p>【現状】</p> <p>東豊中図書館・服部図書館の蔵書構成について見直しを行い、利用度の高い資料を中心とした蔵書構成としました。</p> <p>【課題】</p> <p>○各館における利用動向の分析 ○機能変更に伴う資料運用の全館的な調整。(特に保存資料について)</p> <p style="text-align: right;">【達成度：○】</p> <hr/> <p>【平成 29 年度の予定】</p> <p>東豊中図書館・服部図書館は蔵書構成について継続して見直しを行います。</p> <p style="text-align: right;">【優先順位：B】</p>
G サ ー ビ ス	<p>⑪ セルフ貸出・返却・予約受取ができる環境を整えます</p>	<p>【平成 28 年度事例】</p> <p>セルフ貸出機が庄内幸町図書館を除く全館（8 館）に導入され、千里図書館では 27 年度に引き続き資料点検期間内でもセルフ予約棚を開放することで、予約の受け取りを可能にするとともに、点検中の予約受取の利用率向上のため、分りやすい PR を試みました。</p> <p>【現状】</p> <p>8 館にセルフ貸出機が導入されたことから、新規導入館は利用者に対して丁寧なフォローを行い、概ね利用率は向上しています。</p> <p>【課題】</p> <p>○セルフ貸出機等の利用率の向上</p> <p style="text-align: right;">【達成度：◎】</p> <hr/> <p>【平成 29 年度の予定】</p> <p>引き続き利用者に丁寧な案内を行い、セルフ貸出機等の利用率の向上をめざします。またセルフ貸出機の利便性の向上を目的として、仕様の変更を行う予定です。</p> <p style="text-align: right;">【優先順位：C】</p>
G サ	<p>⑫ 開館日数等を拡充します</p>	<p>【平成 28 年度事例】</p> <p>・千里図書館では、10 月より月曜開館を開始するとともに、5 日間の資料</p>

<p>↓ ビ ス</p>		<p>点検中にセルフ予約棚を開放することで、部分的な開館につなげました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料点検期間については、ICT化により概ね1日から2日の期間短縮を行いました。 <p>【現状】</p> <p>庄内幸町を除く全館で導入したセルフ貸出機の統計での利用状況を把握しました。千里図書館の月曜開館を10月から開始し、シフト勤務による一日の勤務体制が厳しい曜日については、他館からの応援態勢で臨みました。岡町図書館のこども室・参考室の開館時間の延長などの要望があります。</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○千里図書館の開館日拡充後の効果検証。バックアップ体制の構築のための全館的な事業の見直しやさらなる効率化。金曜日に職員が半数体制となる千里図書館及び金曜定休の高川・蛭池図書館職員の全体会議や研修の機会保障。(現状は月末の金曜日に全体職員会議や研修を実施) ○岡町図書館の開館時間延長の可能性の検討。 <p style="text-align: right;">【達成度：◎】</p>
<p>G サ ー ビ ス</p>	<p>⑱ 予約資料の受取場所の拡充を検討します</p>	<p>【平成29年度の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラン⑤（職員の役割分担）で作成した職員の役割分担表をもとに事業見直しを行い、効率化をはかります。 ・庄内幸町を除く全館でのセルフ機の導入から1年間、また千里図書館の月曜開館の1年間の効果検証を行います。 ・月末休館日の曜日変更についての検討をおこないます。 <p style="text-align: right;">【優先順位：A】</p> <p>【平成28年度事例】</p> <p>図書館が身近にない地域における予約資料の受取場所の可能性について検討しました。</p> <p>図書館が身近にない地域や動く図書館のステーション近隣住民の利便性向上のため、既存施設の再利用について提案しました。</p> <p>【現状】</p> <p>他市自治体ではコンビニエンスストアと提携する事例もあることから、導入の可能性について課題を整理するとともに、研究をすすめています。同時に既存施設の再利用に向けて、動く図書館のステーション等の配置見直しも検討しています。</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○物流便の整備の検討 ○図書館機能の見直し <p style="text-align: right;">【達成度：○】</p>

		<p>【平成 29 年度の予定】</p> <p>既存施設の再利用である利倉西センターの図書室化をすすめます。引き続き多様な手法について幅広く研究に取り組みます。</p> <p style="text-align: right;">【優先順位： A】</p>
G サ ー ビ ス	⑳ ICTを活用したサービスを提供します	<p>【平成 28 年度事例】</p> <p>資料点検期間については、IC タグ導入など、ICT 化の推進により概ね各館 1 日から 2 日の期間短縮を行いました。</p> <p>千里図書館では、28 年 9 月より国立国会図書館の図書館向けデジタル化資料送信サービスに参加し、閲覧および複写のサービスを提供しています。また、国立国会図書館デジタルコレクションの閲覧、複写サービスも提供しています。</p> <p>【現状】</p> <p>セルフ貸出機の利用が定着しつつあります。</p> <p>図書館向けデジタル化資料送信サービスの利用件数は 12 件、複写件数 8 件（28 年 9 月～29 年 2 月末）でした。</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○図書館向けデジタル化資料送信サービスの市民への PR ○マイライブラリーなど既存のインターネットサービスの利用案内 <p style="text-align: right;">【達成度： ○】</p>
		<p>【平成 29 年度の予定】</p> <p>先進事例の研究や次期図書館システムに向けての検討をはじめます。</p> <p style="text-align: right;">【優先順位： A】</p>
G サ ー ビ ス	㉑ 広域連携のさらなる拡大を行います	<p>【平成 28 年度事例】</p> <p>北摂市長会から「北摂地区における公立図書館の広域利用について」の提案を受け、北摂 7 市 3 町の企画部門、図書館担当者による検討会議を継続的に開催しています。</p> <p>庄内図書館限定で大阪市との相互利用に関する協定締結に向けて協議をすすめています。</p> <p>【現状】</p> <p>「北摂地区における公立図書館の広域利用にむけた検討会議」を通じて企画部門や各市図書館との情報交換を行いながら、7 月実施に向けて具体的な準備をすすめています。大阪市との相互利用締結についてもこちらの時期にあわせた実施について協議を行っています。</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○保留となった大阪府市長会からの広域利用の提案について、今後の動向の確認

		<p>○豊中市西南部の広域利用</p> <p style="text-align: right;">【達成度：◎】</p>
		<p>【平成 29 年度の予定】</p> <p>引き続き 7 月開始にむけて利用地域拡大に必要な手続きや PR、システム変更などの準備を企画部門や各市図書館との情報交換を行いながらすすめます。</p> <p style="text-align: right;">【優先順位：A】</p>
G サ ー ビ ス	<p>㉒よりきめ細やかな接客を行います</p>	<p>【平成 28 年度事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 27 年に行った障害のある方に対するより良い窓口対応の研修に続き「障害者差別解消法 実践編」を実施しました。障害福祉センターひまわり職員を講師に招き、視覚障害のある方の安全な手引き歩行についてレクチャーを受け、アイマスクを着用して誘導する側、される側を体験しました。(120 人参加)また、野畑、東豊中、服部、庄内図書館では、昨年引き続き職員研修「接遇振り返り研修」(事前研修と実地研修)として窓口対応や表示等について、外部講師からアドバイスを受け、サービスマナーの向上に努めました。(20 人参加) ・ 岡町図書館貸出室のカウンターに相談登録窓口を設置しました。 ・ 聴覚に障害のある方との筆談のために全館に筆談用磁気ボードを設置しました。 <p>【現状】</p> <p>セルフ貸出機の導入でカウンター対応の余裕が生じたことから、フロアワークや利用者に対するよりきめ細かい対応ができるよう取り組んでいます。</p> <p>【課題】</p> <p>○27 年度に引き続きセルフ機導入の効果をふまえたフロアワークの充実</p> <p style="text-align: right;">【達成度：○】</p>
		<p>【平成 29 年度の予定】</p> <p>「障害者差別解消法 実践編」の結果をカウンターでの対応に活かします。「接遇振り返り研修」を受け窓口対応のサービスマナー向上や館内表示の改善に努めます。</p> <p style="text-align: right;">【優先順位：B】</p>
G サ ー ビ ス	<p>㉓サービスを具体的に例示し、図書館活用の幅を広げます</p>	<p>【平成 28 年度事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ レファレンス調査結果を「調査事例紹介」としてポスター掲示し、貸出以外の図書館業務を継続的に周知しています。 ・ NPO 法人との共催事業「すべての人へ本の喜びを」での展示や、「りんごの棚」展示セットの活用と人権講演会での紹介などを通じて、活字での

		<p>情報収集が困難な人に向けて製作されている多様な資料群についてPRしました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月より千里図書館の月曜開館が始まり、より利便性が高まりました。 ・図書館サポーター講座において市民に図書館のサービスの事例を紹介しました。 <p>【現状】 接遇研修、市民協働研修などの機会を活用することで、サービスの見直しや、PR方法等の改善について職員間において認識の共有や再確認をおこなうことができました。</p> <p>【課題】 ○地域のニーズをふまえた服部図書館・東豊中図書館における機能およびレイアウト変更。</p> <p style="text-align: right;">【達成度： ○】</p> <p>【平成 29 年度の予定】 身近に使える施設として地域に親しみやすい図書館サービスを検討していきます。また「図書館のお仕事体験ツアー」など、さまざまな場で図書館のサービスを具体的に紹介する機会をもちます。</p> <p style="text-align: right;">【優先順位： C】</p>
G サ ー ビ ス	<p>㊸ 集会室の利用を活性化 します</p>	<p>【平成 28 年度事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高川図書館では、「ぶらりあん」を午後から自習室として開放（行事開催除く）しました。昨年度に引き続き書庫内レコードの展示も同室で開催、メディアでも紹介されました。さらに、図書館多機能化にむけた館内レイアウト変更を実施。創設されたフリースペースにおいては中学校と連携して「定期試験前自習室」を実施、「災害パネル展（豊中市社会福祉協議会主催）」ではカフェも設けました。 ・野畑図書館では昨年度に引き続き夏休み中、児童集会室を自習に開放し、さらに2階ロビーに机と椅子を配置、フリースペースとして活用しました。 ・庄内図書館3階協働事業スペースでは、学習や調べものをされる方に向けた図書館の新刊資料に関する案内掲示を実施しました。 <p>【現状】 図書館の定例行事と登録団体の定期利用が中心となっています。また自習スペースにおいては、児童生徒等への安全管理に配慮を行っています。</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○利用の固定化 ○一般開放した際の安全管理 ○フリースペースを活用する担い手 ○目的と時間を考慮して区分し、スペースを利用する方法（ゾーニング、タイムシェアリングなど）

		<p>【達成度：○】</p>
		<p>【平成 29 年度の予定】</p> <p>集会室に限らず館内にあるスペースを活かし、図書館利用と地域の活性化につなげていきます。</p> <p>【優先順位：B】</p>
G サ ー ビ ス	<p>㊸ 豊かな市民力を育む生涯学習の情報基盤としての公共図書館の役割を果たし、市民の社会参加や地域との関わりづくりを支援します</p>	<p>【平成 28 年度事例】</p> <p>27 年度に引き続き、情報検索や本の装備を体験するなど、庄内図書館・野畑図書館等で「大人のための図書館のお仕事体験ツアー」を開催し、図書館についての理解を深める機会としました。さらに庄内図書館では「図書館サポーター講座」を開始しました。将来を担う中学生・高校生のボランティア活動も各館で受け入れました。</p> <p>【現状】</p> <p>「北摂アーカイブス」「しょうない REK」の活動に取り組み、市民の社会参加を促しています。公共施設や地域で行われる取り組みに参加し、地域のニーズを把握するとともに、図書館が地域の知の拠点として機能することをPRする機会としています。また他課との連携による事業にも取り組んでいます。</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市民にむけた図書館の役割についての周知 ○市民協働の事業内容についての市民への周知 ○市民の社会参加に対するニーズの把握 <p>【達成度：◎】</p>
		<p>【平成 29 年度の予定】</p> <p>引き続き「北摂アーカイブス」「しょうない REK」の事務局として活動に取り組みます。</p> <p>「図書館サポーター」の本格実施に向け、引き続き「大人のための図書館のお仕事体験ツアー」「図書館サポーター講座」を並行して実施し、市民の参加の機会を増やします。</p> <p>【優先順位：B】</p>
G サ ー ビ ス	<p>㊹ 地域の情報を収集・提供・保存し、市民が地域情報を活用する機会を提供します</p>	<p>【平成 28 年度事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ政策課より提供の地域自治組織の広報誌を全館で、都市計画課のまちづくりセミナーのDVDを岡町図書館のまちづくりコーナー等に配置し利用に供しました。 ・北摂アーカイブス事業で収集・整理された写真データや地域資料を活用したレファレンスにより、『豊中市の昭和』（樹林舎）の編集・出版に協力しました。「市制施行 80 周年記念事業」においても、北摂アーカイブス事業で市民が製作した写真パネルが活用されました。「能勢街道」をテーマに

		<p>した講演会も好評で、関連する図書の展示も行いました。</p> <p>【現状】 北摂アーカイブスにおいては、地域の記憶を記録に残す取り組みとして、市民に知られる機会が増え、地域資料の二次的利用についての問い合わせも増えつつあります。 地域情報誌であるフリーペーパーの発行が活発になり、図書館からの情報掲載媒体として活用する他、館内での配布や地域資料として収集を行っています。</p> <p>【課題】 ○北摂アーカイブス「地域フォトエディター」の募集</p> <p style="text-align: right;">【達成度：○】</p> <p>【平成 29 年度の予定】 北摂アーカイブス事業において定例会の実施、サイトの更新、写真展の開催、公開勉強会の開催のほか、広報とよなか「とよなかタイムスリップ」への写真データ提供等。</p> <p style="text-align: right;">【優先順位： C】</p>
G サ ー ビ ス	②7 図書館サポーターへの参加機会の提供を行います	<p>【平成 28 年度実例】 29 年 2 月 20 日に「豊中市立図書館・図書館サポーター活動実施要綱」を施行しました。これにともない庄内図書館と野畑図書館にて「図書館のお仕事体験ツアー」を開催し、庄内図書館では参加者の中からサポーターの登録希望者を募り、3 月 17 日に第 1 回「図書館サポーター講座」をあわせて実施しました。</p> <p>【現状】 庄内図書館では本の修理を中心としたサポーターの募集を開始し、参加希望者には随時サポーター講座を案内しています。</p> <p>【課題】 ○継続したサポーターの募集 ○多くの市民に参加してもらえるよう、参加者のニーズの把握および魅力的なメニュー作り</p> <p style="text-align: right;">【達成度：○】</p> <p>【平成 29 年度の予定】 引き続き「図書館のお仕事体験ツアー」を開催してサポーター希望者を募集し、サポーターとしての活動の機会を提供します。</p> <p style="text-align: right;">【優先順位： A】</p>

②⑧方針を定めて効果的な
広報を行います

【平成 28 年度事例】

・27 年度に続き、「私の本棚」を広報広聴課と連携して隔月で連載、図書館での巡回展示や図書館ホームページでの紹介も行いました。

特にPR等に力を入れていくべき3地域を選び出し、その地域の人が使いやすいと思われるサービスの紹介をポイントにするPRなどを検討・実施しました。

・「すべての人へ本の喜びを～さわってよむ・きいてよむ・拡大してよむ～」を、NPO法人との共催、支援学校やボランティアの協力のもと、開催しました。また、子ども読書活動推進事業として、展示や研修会で活用出来る「りんごの棚」の展示セットを貸出用に作成し、市の関係部局、子ども文庫、学校、学校図書館向けに情報提供し、活字を読むことが困難な子どもたちの読書について理解するための活用を呼びかけています。

・「まちライブラリー BOOK FESTA」など公・民が広く参加する事業に参加しました。

【現状】

図書館をまだ利用されていない方へのPRとともに、図書館のさまざまなサービスや活動を知ってもらうよう取り組んでいます。

【課題】

○市民との協働研修の成果を生かし、より内容を“伝える”ことに重点をおくPRの展開

○各館・チーム・担当などのPRを調整・整理し、ポイントを絞り、統一感を持って推進すること

【達成度：○】

【平成 29 年度の予定】

広報広聴課と連携した広報とよなかの新たな企画「とよなかタイムスリップ」をすすめます。

引き続き「まちライブラリー BOOK FESTA」など公・民が広く参加する事業に参加します。

【優先順位：B】